

建築物耐震診断判定通知書

交付番号 SKK判第 13025 号

交付年月日 平成 25 年 11 月 14 日

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査
代表取締役社長 兼平 久



下記による申請について、判定しましたので通知します。

記

1	申請年月日	平成25年10月15日		
2	建築物の名称	稚内南中学校 E棟 (25棟)		
3	建築物の所在地	稚内市緑1丁目		
4	主要用途	中学校 渡り廊下	5 階 数	地上 2 階 地下 階 塔屋 階
6	構造	WRC造	7 軒 高	7.10 m
8	延べ面積	81 m ²		

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会の判定

別添判定書のとおり妥当なものである。

株式会社 札幌工業検査 建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健一



SKK判第 13025 号

平成25年11月14日

耐震診断判定書

稚内市

稚内市長 工藤 広 様

株式会社 札幌工業検査

建築物耐震診断判定・耐震改修計画評定委員会

委員長 橋本 健一



平成25年10月15日 付耐震診断判定申込のあった建築物について、
次のとおり判定します。

記

1 耐震診断対象建築物

名 称	稚内南中学校 E棟(25棟)
所 在 地	稚内市緑1丁目
構造・規模	WRC造 地上2階 ・ 81 m ²

2 審 査 結 果

耐震診断は適正におこなわれている。

以上

(様式1)

§ 1 建物概要

1-1 一般事項

建物名称		稚内南中学校 E棟(25棟)			
建築場所		稚内市緑1丁目			
用途		(竣工時) 中学校 渡り廊下		(現 状) 中学校 渡り廊下	
設計者等	設計者	株式会社 久米建築事務所			
	監理者	株式会社 久米建築事務所			
	施工者	不明			
	診断者	株式会社 創 建 社			
建物規模	敷地面積	28,500 m ²	建築面積	48.20 m ²	
	延べ面積	81 m ²	基準階面積	48.20 m ²	
	軒 高	7.1 m	最高の高さ	7.6 m	
	基準階階高	3.3 m	地下階高	— m	
建物履歴	設計年	昭和52年(1977年)	竣工年	昭和53年(1978年)	
	増築・改築	有 ・ (無)	(履歴の内容) 平成14年(2002年) 大規模改修工事		
	補修・模様替	有 ・ (無)			
	用途変更	有 ・ (無)			
	火 災	有 ・ (無)			
震 災	有 ・ (無)	観測点:稚内市中央 平成18年(2006年)8月 サハリン西方沖 震度2 平成25年(2013年)5月 オホーツク海 震度1			
構造概要	構造種別	壁式鉄筋コンクリート造	構造形式	壁式ラーメン構造	
	階数	地上 2階	地下 —	塔屋	—
	基礎形式	独立基礎	地 業	(直接) ・ 杭	地 耐 力 30 t/m ²
	地盤	1種 (2種) ・ 3種	支持層	軟質泥岩	杭支持力
	敷地概況	平坦地			杭径
設計図書	既存図面等	意匠図 : 一般図 (有) ・ 無		詳細図: (有) ・ 無	
		構造図 : (有) ・ 無		構造計算書 : (有) ・ 無	
		地質調査資料 : 有 ・ (無)		(近隣資料 (有) ・ 無)	
添付図書	写真(抜粋)・意匠図・構造図・地質調査資料など				
仕上(下地共)	屋 根	コンクリート直仕上の上 アスファルト露出防水			
	外 壁	モルタル厚20mmの上 リシン吹付			
	天 井	プラスターボード t=9 VP仕上 他			
	内 壁	シナベニヤ t=6 VP仕上 他			
	床	ビニルアスベストタイル貼り 他			
その他	垂直積雪量	(設計時) 100 cm	(現状)	130 cm	
	Exp.Jの	(有) 無			

(様式2)

耐震診断結果表

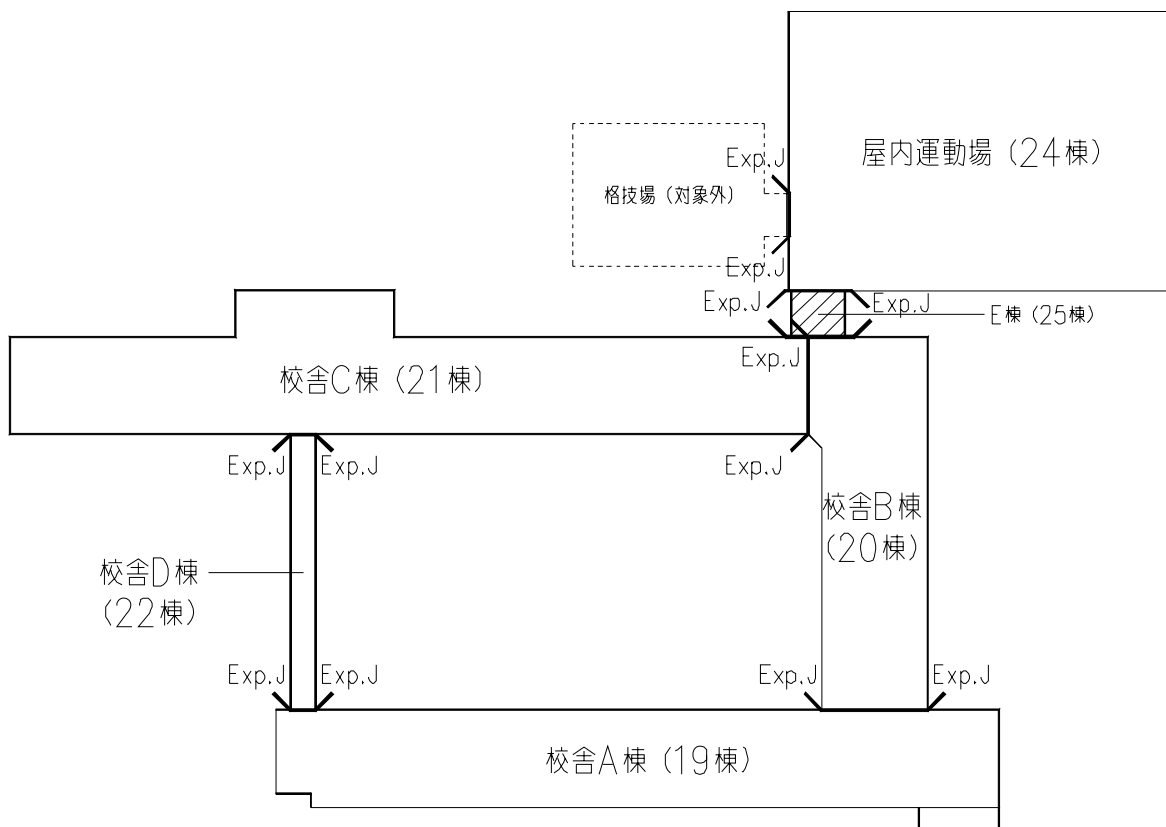
建物名称(棟名)		稚内南中学校 E棟(25棟)						
層重量(kN)		1階	749.06	2階	424.30			
単位重量(kN/m ²)		1階	14.92	2階	13.78			
柱・壁量 (cm ² /m ²)	X方向	階		階		階		階
	Y方向	階		階		階		階
耐震診断結果(正・負加力で不利な数値を記入) 判定指標値 Iso =0.56 C _{TU} ・S _D = 0.24								
方向	階	F	Eo	S _D	T	Is	C _{TU} ・S _D	判定
X方向 (桁行方向)	2	1.50	1.877	0.855	0.900	1.444	1.070	OK
	1	1.50	1.148	0.855	0.900	0.883	0.515	OK
Y方向 (張間方向)	2	1.50	1.671	0.762	0.900	1.147	0.849	OK
	1	1.50	1.296	0.643	0.900	0.750	0.556	OK
結果 (特性)	X方向 (桁行方向)	構造耐震指標 Is値及び累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っており、「想定する地震動に対して所要の耐震性は確保している。」と判定される。						
	Y方向 (張間方向)	構造耐震指標 Is値及び累積強度指標 C _{TU} ・S _D 値は判定値を上回っており、「想定する地震動に対して所要の耐震性は確保している。」と判定される。						

(様式-3a)

耐震診断指標 (RC造)

耐震性能	RC造	準拠耐震診断基準		「既存壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断指針」 (財)日本建築防災協会		
		適用(参考)図書		同上		
		診断次数		二次診断		
		使用計算プログラム	建物重量等	壁式診断 (Ver. 1.28)	(株)東京デンコー	
			診断計算	壁式診断 (Ver. 1.28)	(株)東京デンコー	
		耐震判定基本指標	E_s	0.7		
		地盤指標	G	1.0		
		用途指標	U	1.0		
		地域指標	Z	0.8		
		構造耐震判定指標	I_{so}	$0.7 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.56$		
累積強度指標	$C_{TU} \cdot S_D$	$0.3 \times 0.8 \times 1 \times 1 = 0.24$				
鉄骨造	準拠耐震診断基準		/			
	適用(参考)図書					
	使用計算プログラム	建物重量等				
		診断計算				
	地盤指標	G				
	用途指標	U				
	地域指標	Z				
	構造耐震判定指標	I_s				
q指標						
材 料 強 度	コンクリート強度 (設計基準強度)		設計基準強度	診断強度		
		1~2階	$F_c 210 : 210 \text{ kg/cm}^2$	$F_c 21 : 21 \text{ N/mm}^2$		
	鉄筋材種 鉄筋降伏点強度 直径・間隔	柱主筋	SD	$: \text{ N/mm}^2$	•	
		柱帯筋	SR	$: \text{ N/mm}^2$	•	
		梁主筋	SD 30	$: 344 \text{ N/mm}^2$	• D16	
		梁肋筋	SD 30	$: 344 \text{ N/mm}^2$	• D10 @200mm、250mm	
	鉄骨材種 鉄骨降伏点強度	壁主筋	SD 30	$: 344 \text{ N/mm}^2$	• D10 @250mmダブルトリ	
		柱		 N/mm^2		
		梁		 N/mm^2		
		ブレース		 N/mm^2		
高力ボルト						
	リベット					
その他	第2種構造要素の処理		なし			

1-3 添付図書



	階数	構造	延べ面積	建築年次	備考
校舎A棟	3・塔屋1	RC造	2,434 m ²	昭和52年8月(1977年)	19棟
校舎B棟	2	RC造	823 m ²	昭和53年3月(1978年)	20棟
校舎C棟	2	RC造	1,895 m ²	昭和53年3月(1978年)	21棟
校舎D棟	2	RC造	68 m ²	昭和53年3月(1978年)	22棟
E棟	2	WRC造	81 m ²	昭和53年10月(1978年)	25棟
屋内運動場	2	S造一部SRC造	1,216 m ²	昭和53年10月(1978年)	24棟